

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	神経系の構造・機能・病態		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 木曜3限	教室名	第4校舎401
担 当 教 員	丸山 めぐみ	実務経験と その関連資格	友愛会病院で言語聴覚士として勤務、成人(主に脳疾患等)の言語聴覚療法に携わる。			
《授業科目における学習内容》						
神経系の構造や働き、病態を学び、麻痺や感覚障害の発現するメカニズムを理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト(筆記試験)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
病気が見えるvol7.脳・神経、色えんぴつ						
《授業外における学習方法》						
随時、授業の最初に前回の授業内容に係わる確認問題を実施するので、復習しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
この講義は今後の専門科目を学ぶ上で基礎となるものです。専門用語や記憶する名称も多く、学び始めは大変かもしれませんが、1つ1つ着実に身につけていきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経、抹消神経を分類できる。 大脳各部位の名称を述べることができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。	
	各コマにおける授業予定		神経系の成り立ち、大脳皮質の各部位・辺縁系の部位の名称			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経系の構造を述べることができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称を覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。	
	各コマにおける授業予定		間脳、脳幹、小脳、脊髄			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳脊髄液の循環を説明することができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称を覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。	
	各コマにおける授業予定		髄膜の構造、脳室の構造、脳脊髄液とその循環 +<くも膜下出血とは？>			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	大脳の神経線維の名称と部位を述べることができる。 脳の血管と支配領域を説明することができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。	
	各コマにおける授業予定		脳血管とその支配領域について、ウィリス動脈輪+<脳動脈瘤破裂、脳梗塞、脳出血とは？>			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経細胞の名称を述べることができる。 神経伝達について説明することができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚えておく。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。	
	各コマにおける授業予定		神経細胞、神経伝導、神経筋接合部(シナプス伝達)、神経伝達物質			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	大脳皮質の機能局在を説明できる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
		各コマにおける授業予定	ブロードマンの皮質領野 運動野、体性感覚野、聴覚野、視覚野、前頭前野、辺縁系、言語領域 +<過去問チャレンジ>		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	錐体路の経路を説明できる。 上位/下位運動ニューロンを分類することができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
		各コマにおける授業予定	投射線維、交連線維、連合線維、運動性下行路		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	これまで理解した内容について整理し、質問に適切に答えることができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前半に学んだ内容をよく復習しておく。
		各コマにおける授業予定	問題演習と解説		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脳神経12対の働きを述べることができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
		各コマにおける授業予定	脳神経12対、①嗅神経～⑤三叉神経		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脳神経12対の働きを述べることができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
		各コマにおける授業予定	脳神経⑥顔面神経～⑫舌下神経		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脳神経12対の障害の出現様式をイラストを書いて説明することができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
		各コマにおける授業予定	脳神経の障害、過去問チャレンジ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	上位/下位運動ニューロン障害について、違いを説明することができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
		各コマにおける授業予定	上位運動ニューロン障害、下位運動ニューロン障害それぞれの特徴と相違点+<過去問チャレンジ>		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	錐体外路症状、小脳失調を説明することができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
		各コマにおける授業予定	錐体外路と障害時の症状(錐体外路症状)、小脳路と障害時の症状(運動失調)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚が伝わる経路を説明できる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
		各コマにおける授業予定	感覚障害、自律神経およびその障害+<過去問チャレンジ>		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	画像撮影方法の種類と特徴を述べることができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
		各コマにおける授業予定	形態画像解析、機能画像解析について		